

# 赤穂線ワーキングチームの活動状況

令和7年3月18日

赤穂線WT

岡山市・備前市・瀬戸内市・岡山県  
備前県民局・J R西日本岡山支社

# 赤穂線WTの概要

## ○構成メンバー

岡山市、備前市、瀬戸内市、岡山県、備前県民局、J R西日本岡山支社

## ○開催状況

第1回WT : 令和4年10月27日(木)

第2回WT : 令和4年12月12日(月)

第3回WT : 令和5年5月22日(月)

第4回WT : 令和5年7月27日(木)

第5回WT : 令和5年10月13日(金)

第6回WT : 令和6年7月19日(金)

第7回WT : 令和7年2月5日(水)

### 【第7回協議内容】

- ・沿線企業等向けアンケート調査結果の共有
- ・来年度実施事業の検討



# 赤穂線沿線企業等アンケート調査の概要①

## 【調査の目的】

今後の利用促進策の検討にあたって、J R 赤穂線の通勤利用の現状及び課題を把握することで、より実効的な利用促進策の立案につなげることを目的に、J R 赤穂線沿線に所在する企業等及びその従業員を対象に J R 赤穂線沿線企業等アンケート調査を実施

## 【調査の時期】

令和6年11月27日（水）～12月26日（木）

## 【調査対象】

- （1） J R 赤穂線沿線に所在する岡山県内の企業等 16事業所
- （2） 調査対象企業等で勤務する従業員 約6,000名

## 【抽出方法】

概ね50名以上が勤務する J R 赤穂線沿線の企業等に協力を依頼

## 【調査方法】

- （1） 企業等への訪問による聞き取りまたは電子メールによる回答等
- （2） アンケートサイトでスマホまたは P C を用いて回答  
（アンケートサイトの U R L 及び二次元コードを企業等から従業員に周知）

# 赤穂線沿線企業等アンケート調査の概要②

## 【調査内容】

### (1) 企業向け

- ・通勤手当の支給対象、従業員向けの駐車場の有無等

### (2) 従業員向け

- ・普段の通勤方法
- ・J R 通勤の理由、利用する中で感じたメリット・デメリット
- ・J R 通勤をしない理由、自家用車通勤のメリット・デメリット等

## 【ご協力いただいた企業等】

### (岡山市)

社会医療法人盛全会岡山西大寺病院、両備ホールディングス株式会社西大寺営業所、独立行政法人国立印刷局岡山工場、株式会社中四国クボタ、岡山市東区役所

### (備前市)

NTN株式会社、品川リフクトリーズ株式会社岡山工場、テクノエフアンドシー株式会社岡山工場、備前市国民健康保険市立備前病院、備前市役所

### (瀬戸内市)

株式会社岡山村田製作所、竹久夢二本舗敷島堂株式会社、日本オリーブ株式会社、瀬戸内市役所（本庁・長船支所・牛窓支所）

# 赤穂線沿線企業等アンケート調査の結果（回収票数、企業向け）

## 【回収票数】

- （１）企業向け　：16事業所
- （２）従業員向け：1,406名

## 【企業向け調査の結果】 ※サンプル数が少ないため、あくまで参考値

- ①通勤手当の制度の有無　➤**あり：16事業所すべて**
- ②自家用車通勤の場合の通勤手当支給
  - 距離によって支給額を決定：16事業所すべて**
  - ※距離による支給に加えて有料道路の料金を支給する事業所も一部あり
- ③公共交通機関による通勤の場合の通勤手当支給
  - 通勤定期代：15事業所**
  - ※通勤定期代を支給していない事業所は交通手段に関わらず距離により支給額を決定
- ④従業員向けの駐車場整備　➤**あり：16事業所すべて（有料7、無料9）**

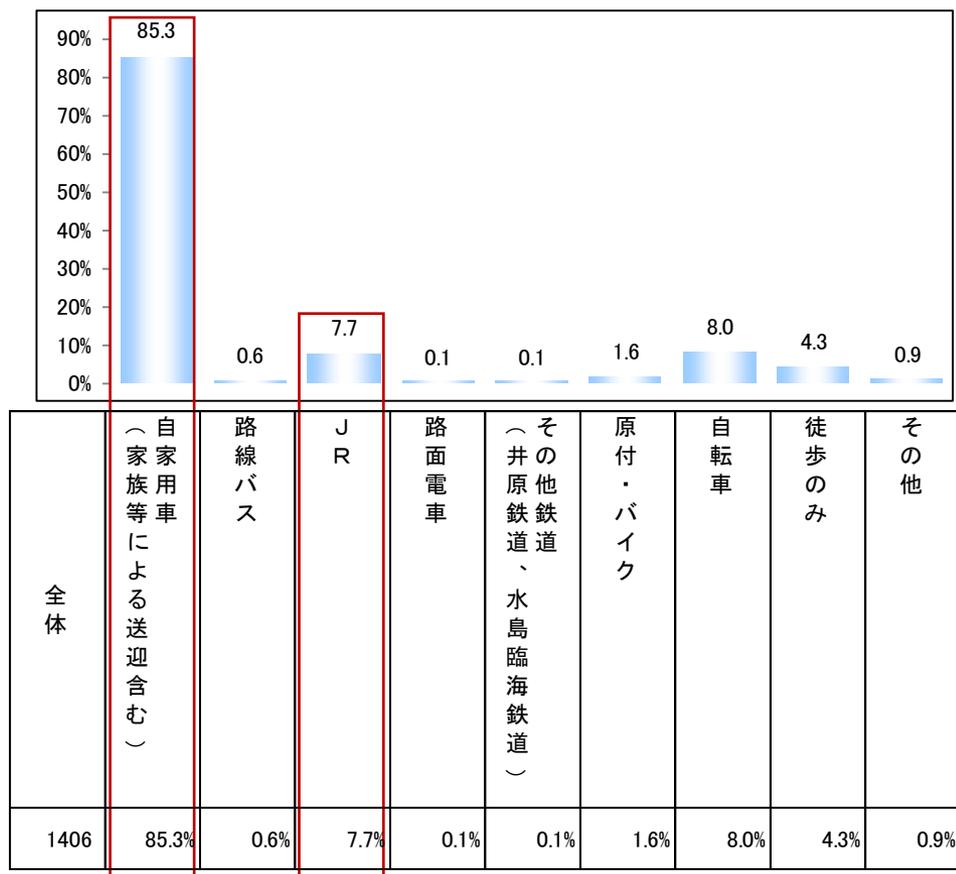
## （結果のまとめ）

- ・駅から事業所まで遠い、運行本数が少ない等の理由から自家用車通勤の環境を整えている事業者が多いと考えられる

# 赤穂線沿線企業等アンケート調査の結果（従業員向け）①

## ① 普段の通勤方法（複数回答）

自家用車が85%以上と大多数を占める。JR利用者は7.7%にとどまる。



# 赤穂線沿線企業等アンケート調査の結果（従業員向け）②

## ②自宅から駅までの主な交通手段（単一回答） ※対象 JRによる通勤をしている方

徒歩、自転車で86.1%を占め、駅近隣在住の利用者がほとんどであると推察される。



該当数	自家用車 (自分で運転)	自家用車 (家族等による 送迎)	路線バス	路面電車	その他鉄道(井原鉄道、 水島臨海鉄道)	バイク	自転車	徒歩のみ	その他
108	4.6%	3.7%	0.9%	1.9%	0.9%	1.9%	28.7%	57.4%	0.0%

# 赤穂線沿線企業等アンケート調査の結果（従業員向け）③

## ③ 駅から勤務地までの主な交通手段（単一回答） ※対象 JRによる通勤をしている方

徒歩、自転車で86.1%を占める。会社の送迎バス利用者は11.1%。

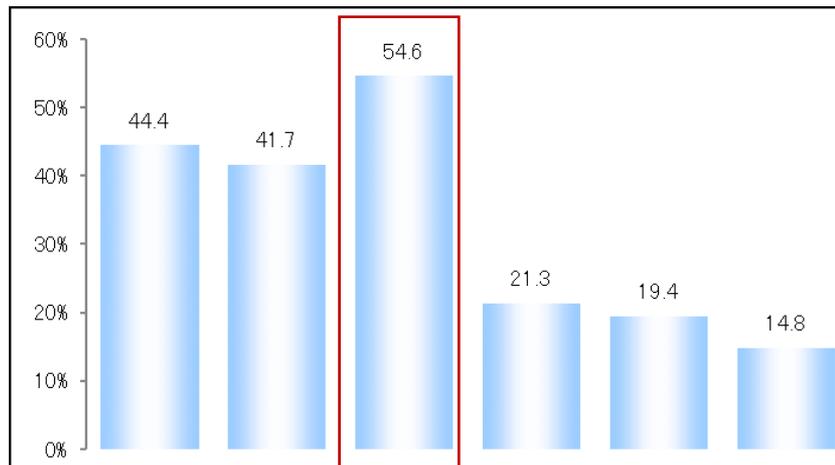


該当数	自家用車	路線バス	バイク	自転車	徒歩のみ	会社の送迎バス	その他
108	0.0%	0.9%	1.9%	16.7%	69.4%	11.1%	0.0%

# 赤穂線沿線企業等アンケート調査の結果（従業員向け）④

## ④ J R通勤をしている理由（複数回答） ※対象 J Rによる通勤をしている方

渋滞に巻き込まれたくないからが過半数。続いて、通勤に都合の良い便があるから、車の運転は疲れるからの順。

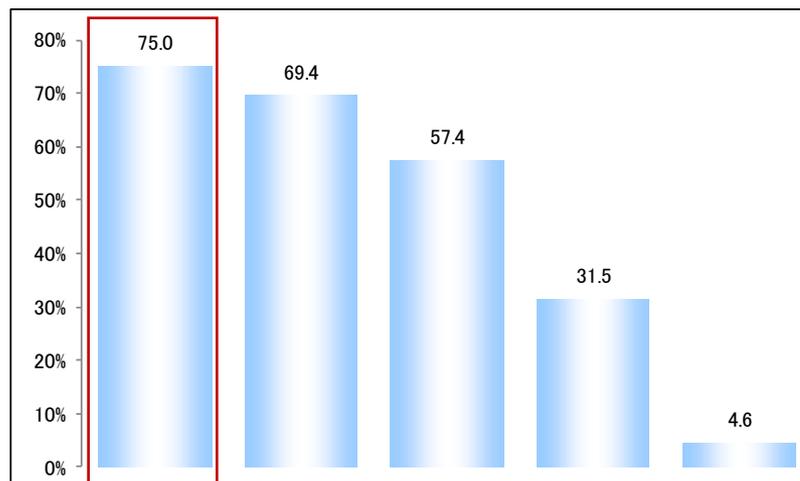


該当数	通勤に都合の良い便があるから	車の運転は疲れるから	渋滞に巻き込まれたくないから	他に交通手段がないから (車・免許等がない)	自家用車の場合、ガソリン代や駐車料金が等	その他
108	44.4%	41.7%	54.6%	21.3%	19.4%	14.8%

# 赤穂線沿線企業等アンケート調査の結果（従業員向け）⑤

## ⑤通勤にJRを利用するメリット（複数回答） ※対象 JRによる通勤をしている方

「通勤中の時間の活用」がトップで75%。続いて、「車を運転しなくてよい」が70%弱。

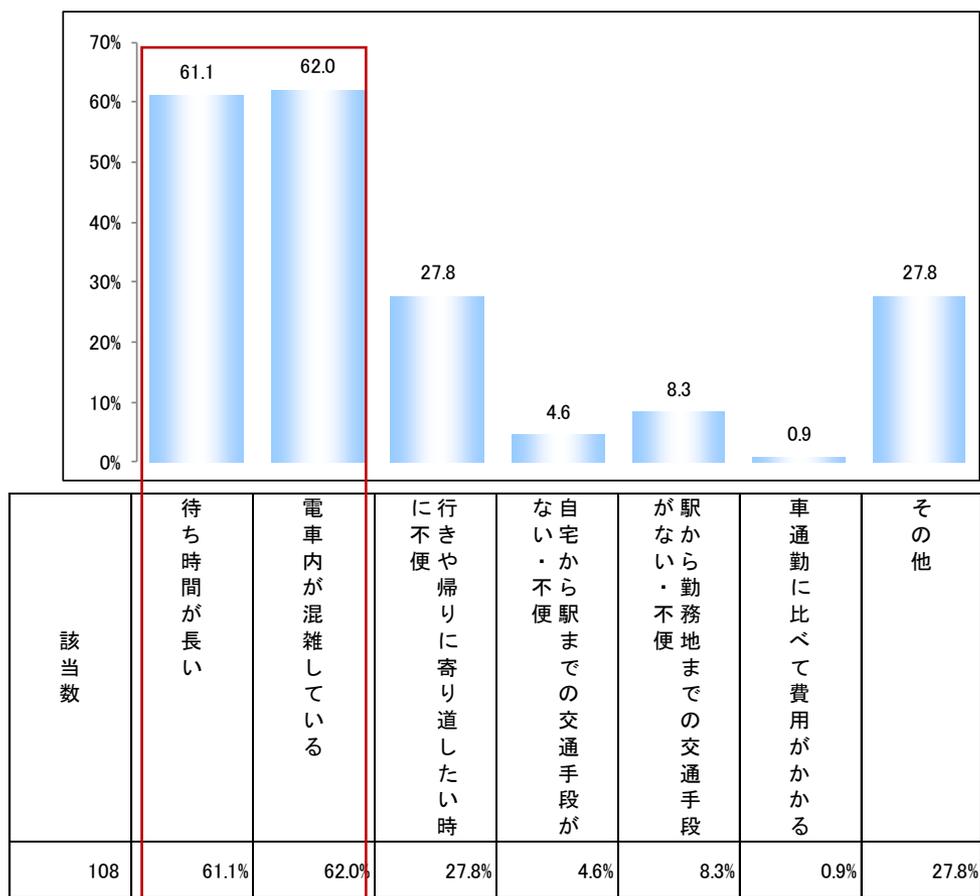


該当数	通勤中の時間の活用（休息、読書、ニュース等）	車を運転しなくてよい	定刻どおりに到着する	車通勤に比べて経済的	その他
108	75.0%	69.4%	57.4%	31.5%	4.6%

# 赤穂線沿線企業等アンケート調査の結果（従業員向け）⑥

## ⑥通勤にJRを利用するデメリット（複数回答） ※対象 JRによる通勤をしている方

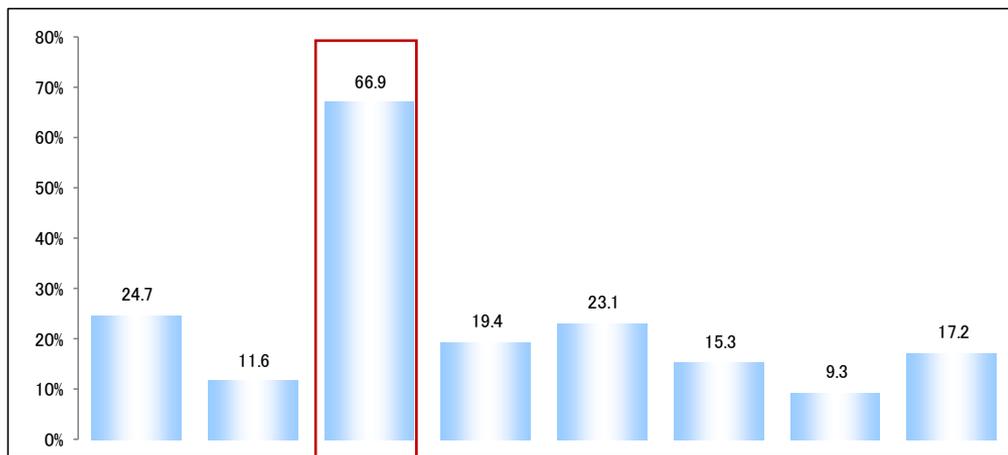
「電車内が混雑している」、「待ち時間が長い」の2つが60%超え。



# 赤穂線沿線企業等アンケート調査の結果（従業員向け）⑦

## ⑦通勤にJRを利用していない理由（複数回答） ※対象 JRによる通勤をしていない方

「車の方が便利」が最も高い。

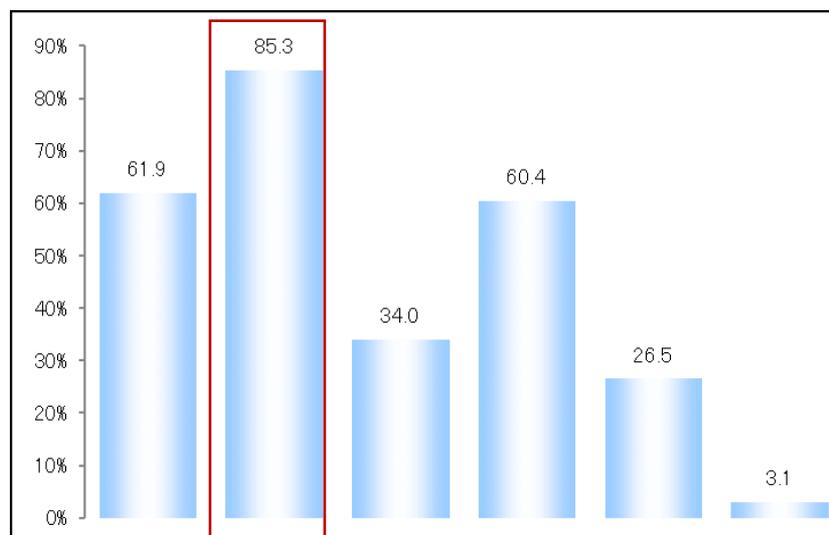


該当数	理由	割合 (%)
1298	利用したい時間帯が不規則である（出勤を含む）	24.7%
	混雑している電車に乗りたくない	11.6%
	車の方が便利	66.9%
	自宅から駅までの交通手段がない・不便	19.4%
	駅から勤務地までの交通手段がない・不便	23.1%
	自宅周辺に駅がない	15.3%
	車通勤に比べて費用がかかる	9.3%
	その他	17.2%

# 赤穂線沿線企業等アンケート調査の結果（従業員向け）⑧

## ⑧通勤に自家用車を利用するメリット（複数回答） ※対象 自家用車による通勤をしている方

「時間の自由がきく」が最も高く85%超え。次いで「通勤にかかる時間が短い」、「買い物などの寄り道がしやすい」。



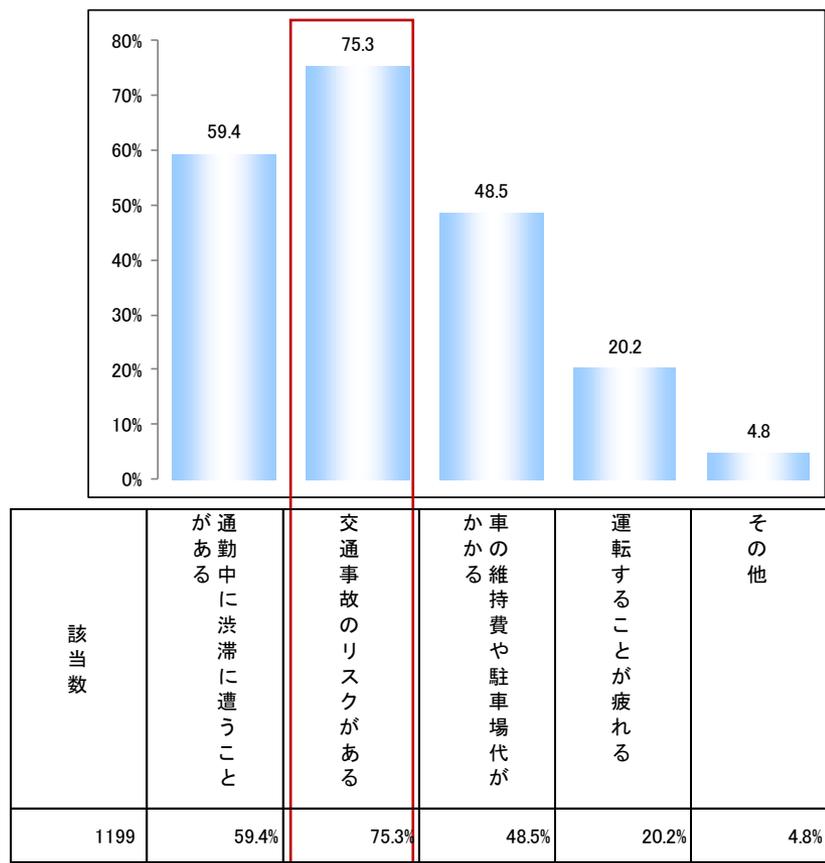
該当数	通勤にかかる時間が短い	時間の自由がきく	人混みを避けられる	買い物などの寄り道がしやすい	ほとんど歩かなくてよい	その他
1199	61.9%	85.3%	34.0%	60.4%	26.5%	3.1%

# 赤穂線沿線企業等アンケート調査の結果（従業員向け）⑨

## ⑨通勤に自家用車を利用するデメリット（複数回答）

※対象 自家用車による通勤をしている方

「交通事故のリスクがある」がトップで75%超え。次いで「通勤中に渋滞に遭うことがある」6割弱。



## 赤穂線沿線企業等アンケート調査の結果（従業員向け）⑩

### 【調査結果のまとめ】

自家用車での通勤者が大多数を占めており、**JR利用者は7.7%と少数派。**

JR利用者のほとんどが駅近隣在住者で、駅への移動手段は徒歩・自転車を中心。

JR通勤の理由で最も多かった回答は「渋滞に巻き込まれたくないから」

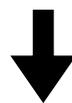
JR通勤のメリットで最も多かった回答は「通勤中の時間の活用」、次いで「車を運転しなくてよい」

JR通勤のデメリットで多かった回答は「電車内が混雑している」、「待ち時間が長い」

JR通勤をしない理由で最も多かった回答は「車の方が便利だから」

**自家用車通勤のメリットは、時間の自由がきく、通勤にかかる時間が短い、買い物などの寄り道がしやすいこと。**

**自家用車通勤のデメリットは交通事故のリスクがある、通勤中に渋滞に遭うことがあること。**



働き方の多様化、時間のフレキシブル化の中、自家用車を利用する方が大多数だと考えられる。

**一方、JR利用者は渋滞回避、通勤中の時間の活用などのメリット**を感じており、自家用車通勤の方にJR通勤を体験してもらい、メリットを実感してもらうことで通勤手段の転換につながる可能性がある。

# 赤穂線沿線企業等アンケート調査（今後の取組方針）

- ・クロス集計による分析等を実施
- ・ターゲット層を設定し、効果的な利用促進策を検討・実施

## ＜クロス集計による分析の一例＞

### 【年齢層での比較】

（事実）・40代と50代は～29歳、30代に比べてＪＲ利用の割合が半分程度

（仮説）・30代までは未婚の方が多く、交通の便が良い駅周辺に居住している。

・40代、50代では結婚し郊外に居住することが多く、子どもの送迎などで車利用の必要性が高い。

（利用促進策）

駅に駐車場を設置し、自家用車とＪＲを併用した通勤がしやすい環境づくりを行う。

### 【自宅と勤務地が同じ市区か異なる市区かでの比較】

（事実）「異なる市区」のほうが「通勤に自家用車を利用するデメリット」のどの項目も割合が高い。

（仮説）通勤距離が長く、渋滞等によるストレスなど自家用車通勤のデメリットや不満を感じているが、何らかの理由によりＪＲ通勤に転換できない層がいる。

（利用促進策）

ＪＲ通勤に転換できない理由を深掘りし、理由に応じた対応策を展開する。

# 令和7年度の取組方針

## 1 学生向けの取組の継続

昨年度に引き続き、4月に学生向けの取組を実施する

### ○チラシ(赤穂線サポートブック)の作成・配布

チラシの内容を更新し、沿線の高校を通じて生徒に配布

### ○駅でのポスターの掲示

前はJR赤穂線沿線の高校に通う高校生に向けたメッセージだったところ、今回、JR赤穂線を利用する全ての高校生に向けたメッセージに変更

### ○通学定期券の出張販売

昨年度に引き続き、備前緑陽高校、邑久高校において、新一年生を対象とした通学定期券の出張販売を実施予定

## 2 沿線企業向けの取組の検討・実施

○地元企業へのアンケート調査結果の詳細な分析を行い、自家用車通勤から公共交通機関による通勤への転換を促すターゲット層を設定

○設定したターゲット層に対して効果的な取組を検討・実施

# その他の取組（令和6年度）

## ○岡山市

- ・西大寺駅に接続しているデマンド型乗合タクシー利用者へ赤穂線利用促進に向けた周知活動（角タク：角山地区）
- ・西大寺駅前自転車等駐車場におけるレンタサイクル事業（電動アシスト付自転車）
- ・岡山駅前広場への路面電車乗り入れ整備事業
- ・高島駅南口駅前広場整備事業



岡山駅前広場への路面電車乗り入れ整備事業（イメージ図）

# その他の取組（令和6年度）

## ○備前市

- ・備前市内の作家・窯元が協力店として参加する「春の備前焼まつり」を開催
- ・東備西播定住自立圏域 J R 利用促進協議会にてフォトコンテストを実施
- ・8～10月の土日(不定期)に J R 伊部駅前またはJR日生駅前からトゥクトゥクを運行
- ・ J R 備前片上駅の駐車場整備（パークアンドライド化）



JR備前片上駅



フォトコンテストチラシ

# その他の取組（令和6年度）

## ○瀬戸内市 JR駅前等整備事業

### 邑久駅

H29～R7年度

- ・駅前広場の整備
- ・駐車場、駐輪場の整備
- ・アクセス道の整備
- ・トイレのリニューアル

### 長船駅

H29～R5年度

- ・駅前広場の整備
- ・駐車場、駐輪場の整備
- ・アクセス道の整備
- ・トイレのリニューアル

### 大富駅

H29～R6年度

- ・駅舎のバリアフリー化
- ・駅前広場の整備
- ・駐輪場の整備
- ・アクセス道の整備
- ・トイレのリニューアル



※邑久駅完成イメージ図

## ○ JR赤穂線沿線地域活性化連絡会議

### 【構成団体】

備前県民局、兵庫県西播磨県民局、沿線市(備前・瀬戸内・相生・赤穂)、J R 西日本等

### 【取組内容】

- ・JR赤穂線の駅と周辺施設を舞台にしたストーリー動画を制作し、映画のような自然な形で沿線地域を映し、沿線地域の魅力を情報発信（R7.3.7公開）

（動画タイトル）「赤穂線で、待っています」

（動画掲載場所）



「晴れの国おかやまチャンネル」  
(YouTube)



- ・沿線地域共通の特産物である牡蠣のPRポスター・チラシを作成し、主要駅等に掲示・配架